

**テーマ** **地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる****目標** 地域を横断する秋篠川とその周辺の環境を共有のシンボルとして、地域住民の皆さんと情報提供や参画意識の向上に努め、豊富な知的資源をかつようし、教育レベルの向上に努める。

## 今年度の取組紹介

1、<ホタルフェスタ> 地域と校区全体の取り組みとして「ホタルフェスタ」があげられる。地域を流れる秋篠川を中心に地域の住民が校区内の学校に於いて、種々の催しを行ってまいりました。今年で5回目を迎え、開会式には平城西小学校の先生方による生演奏が行われました。いつもの先生方とは違う姿が見られ子ども達もびっくりしていました。参加者も、年々増加をたどり約1,000名にいたります。



2、<学力向上放課後教室> 従来行われているサマースクールにおいて、小学校時代に習得すべき簡単な加減乗除が理解されていない中学生がみられました。少しでも子どもたちの自信につながればという思いから理解の遅れを生徒講習対象の補習を計画・実施しました。今年は、国語(月曜日)・数学(水曜日)・英語(土曜日)の3教科を実施。



## 今年度のまとめ

<ホタルフェスタ> 参加者も年をおって多く、参加者の感想も「楽しかった」と好評でした。また、小学生の参画も昨年より増え、楽しんで地域の方々と一緒に頑張っていました。

<学力向上放課後教室> 英語・数学・国語とも2人～15人程度の参加ではあるが、「わからず聞きづらかったところを指摘してくれた」ので良かったとの生徒の声や、「来年もやってや」と講師の先生に声をかけていたので、少しは自信につながったかと思われまます。

## 来年度に向けて

どの活動においても、教員の方々の参加・援助があればどれほど生徒に対する勇気づけになるかもしれません。

テーマ

## 地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる

目標

生徒一人ひとりの学びを保障し、「できるからわかるへ」を目標にした学習の確立。  
社会の中で生き生きと活躍できるためのキャリア教育の充実。

### 今年度の取組紹介

・授業において「繋がり合い、学び合う集団」を育成するため、計画的に校内授業研究会を実施し改善に努めました。また、広く地域や保護者にも公開し、理解と協力を得ました。

・未来を担い自立できる生徒の育成を目指し、生徒自ら考え取り組む事業を行いました。具体的な内容として、リーダー育成のため生徒会が中心になって行うリーダー研修会、クリーン作戦や苗植えなどを実施しました。特に、プロジェクト「ひまわり」では、生徒会・保護者・地域が一体となって、阪神淡路大地震の中から育った「はるかひまわり」を育て、採取した種を、校区だけに止まらず、広く地域に配布しました。1学期にピアニストの野田あすかさんをお招きして行った人権コンサートとともに「人の尊厳」「人との関わり大切さ」を考えるよい機会になりました。



・キャリア教育の一つとしての職場体験学習の事業所開拓や事業所の休業日における環境整備事業(花壇の整備)に協力を得て取り組みました。



・日常的な学校生活における支援の充実として、職員会議中の部活動見回り隊や図書館ボランティアによる昼食時の図書館開放や整理等にも取り組んでいただきました。

・学力向上プロジェクトとして国語、数学、英語の3教科で月、水の放課後、土曜日の午前中に地域在住の指導者を招き、基本でつまずく子

供たちに学習の場所を提供し基礎学力の向上に努めました

### 今年度のまとめ

・今年度もコーディネーターや多くのボランティアの方々からの支援を受け、一つひとつの取り組みが計画的に進められました。また、一層の工夫と改善を加えていただきより充実したものになりました。特に学力向上プロジェクトも軌道にのり、少数ではありますが生徒にも定着してきました。

・広報紙の発行をはじめ、ホームページの充実を図ることで、これまで以上に協議会の取り組みの啓発が進みました。

### 来年度に向けて

・来年度は、これまでの取り組みを継続しながら、本年度動き出した「学力向上プロジェクト」に改善を加え地域と連携して取り組む予定です。地域の方の講師を探すことが困難ですが、コーディネーターを中心に進めていきます。

・「ホタルフェスタ」など校区の幼小中が連携して取り組める事業を模索し実行することで、小中一貫教育の一役を担っていきます。

テーマ

**地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる**

目標

**子どもたちをはぐくみ、地域や保護者で子どもたちを温かく包み込みながら見守る活動を通して地域全体が繋がっていくことを目標とする。**

## 今年度の取組紹介

本年度も、学校生活における様々な場面で、はぐくみ協議会をはじめ地域ボランティアの皆様にご支援ご協力をいただきました。入学直後の新一年生の下校の付添に始まり、年間を通じて、毎日のように子どもたちの下校を見守っていただきました。校外に出かけるときには、大勢の皆さんが子どもたちの安全を守ってくださり、特に、2年生の校区探険や低学年と幼稚園との合同学習では、小さな子どもたちの大きな力になりました。



また、総合「なら」で行っている地域の学習では、地元の皆様をお招きして地域のことをたくさん教わり、子どもたちが暮らすこの地域のことをくわしく知るだけでなく、その方ならではのプチ情報も織り交ぜ話してくださり、地域の皆さんのことを知るよい機会にもなりました。月2回の西部図書館への引率や学校行事でのいろいろな場面での支援をいただいています。さらに今年は体育館の暗幕を修理、補正してくださり、環境整備にもご尽力いただきました。

昨年度に続き重点を置いたお話の会を中心とした読書活動の充実では、今年も図書ボランティアの皆さんに毎月来ていただき、本の並べ方・紹介方法等をさらに工夫してくださり、図書室がより明るく楽しい雰囲気になりました。その結果、誘い合って図書室にくる子どもたちの姿が増えました。お話の会も子どもたちは大好きで、聞く態度は真剣そのものです。

## 今年度のまとめ

昨年度に引き続き、読書活動の充実には重きを置きましたが、購入した新しい本がたくさん本棚に並び、図書ボランティアの皆さんには、毎月、それを子どもたちに紹介するなど環境整備に取り組んでいただき、誘い合って図書室を訪れる子どもたちの姿が増えました。お話の会も子どもたちには、楽しみな取組となり、読書への関心は高まっています。また、校内には、年中、きれいな花がたくさん咲き、暗幕修理、ペンキ塗りなど校内環境の整備には日々協力いただき、美しく保たれています。

## 来年度に向けて

次年度は、ボランティアの皆さんの得意分野を活かせるような学習支援を積極的に取り入れていきたいです。また、高まってきた子どもたちの読書への関心をいっそう高めるためにも、さらに書籍を増やして、お話の会と読書活動のつながりを深め、来年度も引き続き読書活動に力を入れていきたいと考えています。毎年、多くの費用と活動をいただいている学校環境の整備についても、子どもたちが、豊かな気持ちになり、誇りに思える美しい学校を維持できるように、一層充実させていきたいです。

テーマ

**地域で子どもをはぐくみ、子どもで地域がつながる****～自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成～**

目標

- ・児童がいきいきと意欲的に楽しく取り組めるように、学習環境の整備と学習活動の工夫・改善を図る。
- ・様々な人との関わりを大切にした取組を意図的・計画的に位置付け、あいさつや会話の大切さを知り、コミュニケーション能力と規範意識を高めると共に優しさの醸成を図る。
- ・地域・家庭と連携を密にして、やさしくたくましい子どもの育成を図る。

今年度の取組紹介

## ◆環境整備事業 「みどりの輪」

今年度、木の伐採や花壇・芝生広場の整備を目的として、環境ボランティア「みどりの輪」を正式に発足させました。年4回、児童と共に活動できるように時間帯を調整して実施しました。また、マスコットキャラクターを考え、その缶バッジを作って活動時に付けてもらう



ことにより、親しみと連帯感をもてるようにしました。ボランティアに来て下さった地域の方の活動の様子を見て、児童や教員も熱心に活動でき、有意義な活動が行えました。

## ◆体験的な学習推進事業「命の学習」

1年生の生活科の時間に、奈良県獣医師会の協力を得て、命の学習を行いました。モルモット、ウサギ、犬などの抱き方を教わったり、心臓の音を聴いたりして、動物にも命があるということを実感しました。また、参観時に行うと共に保護者からもボランティアを募って協力してもらうことにより、親子で命の大切さを考えられました。その後、1年生でモルモットを継続して育てました。

今年度のまとめ

環境ボランティア「みどりの輪」の活動により、校庭の木や花壇、芝生広場などが整備でき、美しく安全な環境のもとで活動できるようになりました。児童と共に活動したいという地域の方の要望から、中休みを活用して実施しましたが、地域の方と和やかに交流する場面が見られ、児童の規範意識の醸成に有意義であったと考えています。また、図書室の環境整備や読み聞かせ活動についても地域の方が熱心に取り組んでくださり、児童の読書への意欲をさらに引き出してくれました。

命の学習をはじめとする体験的な学習推進事業も、それぞれの学年で工夫して取組を進めることにより、児童の学習意欲を高め、学びを深めることができました。

来年度に向けて

環境ボランティア「みどりの輪」については、来年度は5回実施（5・7・9・11・2月）を目指すと共に、ホームページなどを活用して広げていきたいと考えています。

体験的な学習推進事業については、現在の活動をさらに発展させ、地域を生かした教材研究に取り組んでもらいたいと考えています。

**テーマ** 幼小中・地域の確かなつながりの中で自ら考え、未来を切り開く子ども

**目標** 地域の子は地域でつながる

#### 今年度の取組紹介

子どもたちの興味・関心を湧き立てる体験活動を取組の目標とし、「地域の方とのふれあい」、「小学校や未就園児との交流」を年間通して実施しました。

##### 【地域とのふれあい活動】

栽培活動は、地域の方をゲストティーチャーとして招き、栽培から収穫までかわっていただくことができました。この取り組みは、地域の方とのふれあいだけにとどまらず、栽培した作物や花を地域の八百屋や花屋で販売する活動も行い、キャリア教育の取組につなげました。また、販売に際しては、コーディネーターが幼稚園と地域の商店をつないでくださいました。



地域の高齢者施設の方々を運動会や音楽会に招待しました。運動会では、高齢者の方が、園児と一緒に、ダンスを踊ったりするなどして、楽しいひと時を過ごすことができました。

##### 【小学校や未就園児との交流】

幼稚園と小学校1年、2年と年間を通じて交流を行うことができました。1学期には、幼小合同で大湊池公園に出かけ、遊具で遊び、2学期には小学校で行われた秋フェスタに参加しました。また、12月に行われた幼稚園作品展に小学生が鑑賞に来て、園児が作品の説明を行い、交流を深めました。3学期には、1年生の体験入学や給食体験も行いました。

#### 今年度のまとめ

自分たちが暮らしている地域を知り、地域の方々と触れ合う機会を設けることで、保護者や子どもたちは、地域の方々に支えられ地域の中で生活していることに気付くことができました。また、多くの方と触れ合うことで、人とかかわる力が育っていると感じます。高齢者施設の方々との触れ合いは、子どもたちにとっては優しく声を掛けたり、話をじっと聞いたりなど普段とは違う経験をすることができました。また、高齢者施設を身近に感じたことで、保護者と施設の催しに参加するなど地域を知り親しむ機会となりました。栽培活動では、地域の方への感謝の気持ちや収穫の喜びを感じることができました。

#### 来年度に向けて

今年度は、地域の方にこれまで以上に鶴舞幼稚園を知ってもらい関心を寄せてもらうため、広報活動に力を入れ、ホームページの更新や自治体へ幼小便りを回覧するなど積極的に広報を行いました。また、これまで、公民館で行われていた地域の夏祭りを幼稚園で行うことで、多くの方が幼稚園に集っていただくことができました。今後も地域の方々の協力をいただきながら、地域の幼稚園としての魅力を発信していきたいと思っております。

テーマ

## みんなでつくろう楽しい幼稚園

目標

様々な感動体験を積み重ねることで、豊かな心や身体、主体的に活動に取り組もうとする意欲を育む。親子・地域がともに楽しめる幼稚園づくりをする。

今年度の取組紹介

○ 感動体験の積み重ね

**人形劇** 人形劇団「ゴロゴロ」に来ていただき、「ぶたのたね」の人形劇を見せていただきました。楽しいお話に、子ども達は最後まで目を輝かせて見入っていました。最後に、人形にタッチしながら「ありがとう」と挨拶しました。



**音楽鑑賞会** ビオラとピアノの演奏を保護者や未就園児親子と一緒に楽しみました。本物の音色に聞き入り、知っている曲は一緒に歌ったり手拍子もしました。ビオラとヴァイオリンは同じ形であることや、音の高さが違うことを教えていただきました。また、七夕集会には地域のハンドベルサークルの方が演奏してくださり、いろいろな種類の楽器に触れることができました。

○ 地域の様々な方との交流

**昔遊び** 地域の方々に来ていただき、あやとり、紙風船、こま、めんこ、おはじき、お手玉、まり、ヨーヨー、けん玉、かるた、だるまおとし等の昔遊びを教えていただきました。小学一年生の仲良しペアでいろいろな遊びに挑戦し、繰り返し楽しみました。園に戻ってからも友だちと楽しんでいました。



**栽培活動** 地域の方に教えていただき、一年を通していろいろな野菜を育てました。毎日、水やりや草抜きをしながら、親子で生長に気付いたり、収穫の喜びを味わったりし、食育につなげることができました。(ピーマン、トマト、オクラ等の夏野菜やタマネギ、サツマイモ、大根等)

今年度のまとめ

- 感動体験の積み重ねによりお話遊び・体操・楽器・栽培活動・園内外で経験したことなどを遊びの中に取り入れ、言語・体力・食育・表現・生活習慣等総合的な成長がみられました。友達と相談したりして主体的に関わり、挑戦したり意欲的に遊ぼうとする子が増えました。
- 地域の方をはじめ様々な人との交流により、その温かい雰囲気や眼差し、言葉掛けなどをおして周りの人への感謝の気持ち、人と関わる心地よさなどを感じ、思いやりの気持ちが育かれています。すすんで挨拶をしたり話しかけたりするコミュニケーション能力も育ってきています。
- 保育参加や親子での活動を積み重ねたことで、子どもたちの成長をその度に感じ親子の共通の会話が増えたとの感想が寄せられ、保護者の教育や実体験することへの意識が高まっています。

来年度に向けて

- 子育て支援の充実や家庭教育の向上を図るため、地域コーディネーターの方との連携を深めていくとともに、今年度の取り組みを継続して実践していきたいです。